

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2011年
4月13日(水)
第33号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

「新システム」反対、5・22 大集会、 5・23 国会要請行動が提起さる

「よりよい保育を！実行委員会」は、4月8日事務局会議を開催し、5月22日の「子ども・子育て新システム」反対大集会及び5月23日の国会要請行動を決めました。

「新システム」について、3月9日の検討会議作業部会で「4月中に関連法案を閣議決定し国会に提出する」ことを確認後、東日本大震災でワーキングチームや「社会保障改革に関する集中検討会議」が延期されていますが、政府が国会提出の方針を見直さないもとの、集会及び国会要請行動が提起されました。

集会は、5月22日13時より東京芝公園23号地（東京タワー向かい）で開催し、パレードを展開します。規模は全体3000人、自治労連は1500人の参加を目標としています。

東京自治労連保育部会は、4月8日の幹事会で、全国保育集会に1346人が参加したことも踏まえ、11・14保育大集会と同数の1000人を目標とすることを決め、各単組も11・14と同様の目標をめざすことを提起しました。

5月23日の国会要請行動は、全体300人、自治労連は150人の参加目標で、東京自治労連には50人の要請となっています。

東京武道館避難所に足立区保育士等派遣

東京武道館では、福島原発事故の為に避難した人を300人を受け入れ、足立区保育課は、子どもの受け入れ・支援のため「キッズコーナー」を設置4月5日から15日までの期間、保育士と図書館職員の9人で保育。保育内容は、絵本の読み聞かせ、手遊びなど。遊具は近隣園が民営化したためそこから持ち込みました。一時保育も受け付け、最大4時間まで。母親の入浴、買い物、食事などの為。土日は、園長と子ども家庭支援センターのサポーターが対応しました。子ども達は母親と一緒に参加。好きな時間に来て遊んで行く。ただ、保育中は外に出ることが禁止されていたため、近くの公園などへ散歩に行けません。でも、子ども達にストレスは感じられなかったとのこと。避難受け入れ期間は4月5日から16日まで。それ以降は、都住や赤坂プリンスホテルなどに避難。しかし、6月いっぱいまでと期限が決められており、その後の保障がありません。

【岩手県保育連絡会 NEWS No.15 2011年3月27日付けより転載】

**「新システム反対」署名が県内の各保育園から「続々」と返ってきています！
何枚も何枚もコピーして署名を集めてくれた園も…**

「子ども・子育て新システム」に反対する「新署名」への反響が県内各保育園に大きく広がりをを見せてきています。

岩手県保育連絡会事務局では先月、県内のすべての保育所・保育園など認可外施設も含めて「よりよい保育の会」が作成した新チラシを同封して送付し、署名への協力をお願いしてきました。

今、保育連絡会事務局に「続々」とその署名が返信されてきています。事務局では

「返信用」として「80円切手を貼った」封筒を同封して送っていましたが、「新署名」用紙を多数コピーして、保護者などの協力も得て多数集め、「切手を貼り足した」と返信されてきています。「地震で汚してしまいました」とメモが張ってある署名用紙もありました。中にはカンパも同封されているものも。

「新システム」導入に対する反対の思いは強いと感じています。その数はすでに30箇所を超えました。

みなさん、署名は回っていますか？ 保護者や地域の方に声をかけていますか？ 全国からの激励をうけ「大震災」に負けない！ 署名の取り組みで乗り越えましょう。すべては未来を担う子ども達と保護者、私たちのために。

にゅうすこゝろあ

ニュースNo.14で紹介した野田村の「野田保育所」の卒園式が26日のNHKニュースで紹介されました。園長先生の「1年間の皆さんの作品などは流されてしまったけど、無事にお母さんたちにかえすことができました。」と涙ぐんで話していました。保護者の方も涙ながらに喜んでいたのが印象的でした。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを。内容を圧縮した「携帯メールニュース」は携帯からメールでお申し込みを】